

<b>事業名</b>	日本語教育事業<HGむつみ日本語教室>
<b>分類</b>	人材育成
<b>協力団体</b>	1) チェイ小学校 2) 協力小・中学校 3) 協力企業

### 活動理由

カンボジアの8割を占める農民は非常に貧しく、そのため、子どもを手放さざるを得ない家庭が多くあった。子ども達が成長しても就職は困難を極めており、もし、日本語が話せたならば、ホテル、レストラン、ガイドと仕事が見つかる可能性は高く、自立のために現地の多くの人々から日本語教育支援の強い要請を受けた。HG は日本語教育のための派遣教員として、2000年9月から松尾睦先生をシムリアップに派遣した。現地調査の結果、シムリアップの最も貧しい地区の一つであるチェイ小学校内において、2001年6月より無料の日本語教育を始めた。2002年には、チェイ小学校校内に独立した日本語教室を新築して、現在では4クラスが毎日1時間ずつ日本語を学べるようになった。日本語教育には高等教育という理由で、助成金がほとんどなく、下記の団体の寄付で活動できている。

### 活動概要(本年度のHGむつみ日本語教室)

- 人数:「ふじ組」(5名)「ひまわり組」(6名)、「つばき組」(13名)  
「ばら組」(46名) 計70名
- 時間:月曜日～金曜日 7時半～9時半、午後1時～3時
- 内容:ふじ組(日本語検定1級・2級目標) つばき組(検定3級目標)

### 日本の学校との交流(11年目)



日本の学校からの支援物資(手作り日本語教材、手作り遊び、手作りカレンダー、手作りかばん、文房具、カレンダー等)を送ってもらい、日本語教室内は日本からの心のこもった教材や掲示物で飾られており、その教材を使って授業が進められている。2008年より岡山学芸館高等学校の高校生が研修旅行として、シムリアップで数日滞在して、HGむつみ日本語教室や学芸館高校留学生の家庭訪問等をして研修の機会を得ている。現地での子供同士の交流や地域の方々との交流も大変温かい雰囲気になされ自分の目で見て、耳で聞いて、肌で感じているいろいろなことを素直に受け入れ大変有意義な交流になっている。

### 現地訪問・物資支援

- 11月17日: 島根県退職教員の会17名が来訪、交流。レターセット等支援。
- 12月2日: HG有森裕子代表理事やHGツアー参加者75名が日本語教室と、チェイ小学校訪問。
- 12月16日: 岡山学芸館高校生21名と先生3名が、交流。高校生が踊りや工作などを指導しよい交流ができた。
- 3月9日: 岡山大学国際科の大学生16名と小川秀樹教授の皆様の教室訪問、交流。大学生の皆様が「うらじゃ踊り」を指導してくださり大変盛り上がった。



<チョンパー先生>

\* 上記訪問者から、支援物資を多数寄贈頂いた。

- HG睦日本語教室の補助教員、ゲ・チョンパーは、岡山県の「国際貢献ローカル トウローカル技術移転事業」の研修員(日本語指導)として7月初旬から11月末間での5ヶ月間、主に岡山外語学院で研修を受けた。帰国後、研修の成果を生かし毎日午前、午後ともHG睦日本語教室で日本語の指導を行なっている。
- テン・ワンニダーは岡山学芸館高校留学中に7月に行なわれた一回目の日本語能力試験N3に合格し12月に行なわれた二回目の日本語能力試験N2にも余裕で合格した。実に快挙である。
- 姫路ロータリークラブより、日本の絵本が多数寄贈され図書コーナーを新設した。他にも企業、個人支援者の皆様より、制服、文具、日用品などの支援を受けた。



<ワンニダー箏曲部の発表会(左)>

**次期実施計画** 毎年の岡山学芸館高校への留学は、2011年度はテン・ワンニダー(5期生)が選ばれ、ハート・ペアレント(留学里親)の支援のもとに充実した留学生活を送ることができた。2012年度は、チュート・スライノッチ(6期生)が決定。

彼女の留学里親も募集中。

**支援団体** コニシ(株)、銀座ステファニー化粧品(株)、留学里親、岡山学芸館高校、(株)タダノ、飛鳥建設(株)、倉敷平成ライオンズクラブ、姫路東ロータリークラブ、HG会員支援者、岡山市立福島小学校、岡山市立西大寺小学校、御南小学校、他協力校